

さくら通信

平成18年11月12日

No.4

発行者：下関深坂さくら友の会 下関市横野町1-13-1

TEL:0832-58-3277 FAX:0832-58-3234

Eメール: hibiki-lc@gold.ocn.jp

HP: <http://www.h2.dion.ne.jp/yasuokac/sakura/>

9月定例集会（9/10）レポート

前日の雨の予報にもかかわらず、好天気になり、また暑さも和らぎ気持ちよく作業ができた。

参加者の皆様ご苦労様でした。

説明と班分け

44名が参加し、B、C、D、E、Gの5班に分かれ作業した。



午前10時に、今度は深坂自然の森に維持管理部会を中心には志が集まつた。台風13号による倒木の救出のためである。50本以上が倒れたり折れたりした。そのうちの助け

られるものを救出するためである。

上の写真のように、幹の周りが一抱えもある楠の大木も倒れていた。

ご存知ですか？（左）

長安線から農免道路が分かれる蒲生野交叉点に写真のような石柱が立っている。同じような石柱が深坂バイパスから内日に出る交叉点にもある。これがさくら街道の始点と終点である。25周年記念となるのは響灘ライオンズクラブが認証を受けて25周年の記念事業として始められたことを意味している。

下関市と打ち合わせ

10月4日と20日の2回、下関市農林整備課と深坂森の家で、打ち合わせが行われた。現地の共同視察と、予め提出していた要望書に対する解答を得るためにある。斜面の階段設置、てんぐす病などの残材集積場所、支柱の支給、草刈作業日程の調整、作業時の保険、その他について話し合い回答を得た。

参加者の感想 深坂の森に植樹された桜にはご存知の通り、オーナーの氏名とメッセージが書かれたプレートがある。2年前、私は息子の誕生記念に植樹したのだが、一言書く段、少し戸惑いそこに『世界平和』と書いた。大仰な…と、思われるかもしれないが、世の中が平和であればこそ、桜の花も美しく感じられるのではないか。今はまだ世界平和とは言えないが、せめて息子が私の年齢になっても笑顔で桜の季節を楽しめる世であってほしい。そして、美しい桜の木を一本でも多く植樹し、深坂の森を桜花爛漫とすることで多くの人に身近な幸せを桜の花に感じてほしいと…。このようにオーナー方々の様々な想いや願いが込められた桜街道は、他の桜の名所とは一味変わった雰囲気を感じることが出来るかもしれない。（7月 阿部 洋）

投稿

会員の声の投稿を待っています。（字数200～400）

ホームページの写真募集

会員の桜、ネームプレートの写真やコメントを募集しています。それらは順次、さくら友の会のホームページに載せていきます。写真はデジカメで撮り、メール添付で応募下さい。

予定 定例会は常に草取り作業などを目標に集合します。雨天のときも集合を原則とし、天気次第で急遽レクレーションに変更することもあります。

次会定例会 1月14日（日）予定

9月22日緊急出動

台風13号でさくらの倒木が出た。これを引き起こすために緊急集合がかかった。午後5時集合。十数名が参加して暗くなる寸前の6時30分まで作業は行われた。



10月1日臨時集会レポート

合同清掃作業
下関響灘ライオンズクラブ、蒲生野自治会、なごみの里が合同で、深坂バイパスの蒲生野入り口から済生会病院までの約1kmの清掃作業を行った。

さくら友の会からも有志が参加した。さくらの植樹周り、パーキングエリアの植え込み、沿道などの雑草の除去が主体である。午前8時30分、このパーキングエリアに約100名が集合、10時までの作業で、見違えるように綺麗になった。



さくら救出緊急出動

（写真左）10月1日この